

令和4(2022)年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和4年度の処理区域内人口は220,495人となり、前年度に比べ3,139人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は90.9%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

また、水洗化区域内戸数は135,585戸、水洗化済戸数は130,922戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は96.6%となり、前年度に比べ0.2ポイント増加した。

事業収益については、使用件数の減少により下水道使用料が減少したものの、長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ82,386,886円の収入増（1.1%増）となり、総額で7,629,871,764円となった。

事業費用については、企業債利息の減少等により、前年度に比べ2,425,824円の支出減（0.0%減）となり、総額で6,397,809,538円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ84,812,710円増加し、1,232,062,226円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、宇賀浦中継ポンプ場自家発電設備工事等を予定どおり施行した。

なお、下水管渠事業、ポンプ場事業、汚水処理施設事業および函館湾流域下水道事業費負担金で、合わせて797,466,000円が建設改良費の繰越額となっている。